

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 5月20日 月曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)	
1. 岸信夫 さん前 (15.5)	1	20.3	6.9		珪	140
	3	20.0	7.2	34	珪	290
	5	19.7	7.1		珪	70
2. 大江 (13.2)	1	21.1	7.1		珪	30
	3	19.8	7.2	33	珪	130
	5	19.5	7.1		珪	100
3. 道方 (9.9)	1	21.8	6.3		珪	0
	3	19.9	6.6	33	珪	10
	5	19.5	6.5		珪	180
4. 毛無 (17.3)	1	21.5	6.8		珪	0
	3	20.0	6.8	33	珪	180
	5	19.4	6.8		珪	150
5. この浦 (中央) (13.1)	1	21.3	7.0		珪	40
	3	20.4	7.0	34	珪	170
	5	20.0	7.1		珪	100
6. この浦 (奥) (9.0)	1	21.1	6.8		珪	0
	3	20.7	7.3	34	珪	80
	5	20.4	6.9		珪	360
7. テラマル (18.6)	1	19.4	6.7		珪	0
	3	19.2	6.6	34	珪	0
	5	19.1	6.7		珪	0
8. カマバ (11.5)	1	19.4	6.6		珪	0
	3	19.1	6.6	34	珪	0
	5	19.1	6.7		珪	0

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)
 今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
 南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。